

年末年始の 窓口情報

八峰町役場の年末年始の休日は、12月29日（火）から1月3日（日）までとなっています。この期間中、戸籍・住民票・印鑑証明書等の発行はできませんので、ご注意ください。なお、下記の業務については受付しています。

●死亡届・斎場使用許可申請

斎場予約のため、午前8時30分～午後4時までの受付となります。
役場代表番号 0185-76-2111（コールセンターへ転送）へ電話で事前にご連絡ください。
斎場は1月1日（金）のみお休みとなります。

●婚姻届・出生届など上記以外の届出

職員が届出希望日時に合わせ庁舎で受領します。（審査・受理は休日明け開庁時間内となります。）
休日前に役場庁舎1階 ③番町民サービス係窓口にて、届出書の事前確認をして来庁日時をお伝えください。
* 出生届は受理後、住民登録手続きや福祉保健課での手続きがあります。（休日に届出した場合、再度平日に来庁していただくこととなります。）14日の届出期間の内、なるべく開庁時間内に届出してください。

●届出の期限と必要な書類

届出種類	提出期限	届出人印鑑	その他
婚姻届	-	○	戸籍謄本（八峰町に本籍がない方）
死亡届	7日以内	○	
出生届	14日以内	○	

●休日の連絡先

八峰町役場 ☎76-2111
（コールセンターへ接続）

●窓口情報、届出に関するお問合せ

総務課町民サービス係 ☎76-4614

- ファガス・峰栄館：12月29日（火）～1月3日（日）まで休館とさせていただきます。
- 町内各体育施設：12月29日（火）～1月3日（日）まで休館とさせていただきます。
- としょカーン運行：12月25日（金）～1月5日（火）まで休止とさせていただきます。
- 町営診療所：12月26日（土）～1月4日（月）まで休診とさせていただきます。
- 町営歯科診療所：12月27日（日）～1月4日（月）まで休診とさせていただきます。

暮らしの難儀事お手伝いします

★相談は無料です。
官公庁への提出書類、契約書の作成、車庫証明、車ナンバーの変更、農地関係、相続手続き、遺言書の作成など
今月のご提案
「相続は年数が経つと難しくなります。お早めに」

工藤金悦行政書士事務所（浜田） ☎77-2670 携090-3365-8232
HP <http://www17.plala.or.jp/kudogyo/>

年賀状印刷承ります

白黒・カラー印刷代 50枚まで 3,000円
年賀はがきをお持ちでない方には、こちらでご用意致します
ご自宅まで配達しておりますので、お気軽にお電話下さい
補聴器・メガネ・時計・はんこ・ゴム印・各種印刷

吉田時計メガネ店
八峰町八森字中浜15-2 電話：77-2034

第13弾 八峰町プレミアム付商品券

令和3年1月30日（土）まで

八峰町敬老記念商品券

※利用期間 令和3年1月30日（土）まで

※7月19日で閉店した福島県の「鮭待夢郡山店」とは関係がございません。
これからもよろしくお願ひします。

秋田県プレミアム

飲食券

※利用期間 令和3年2月28日（日）まで

のしろ地域振興券

※利用期間 令和2年12月31日（木）まで

お寿司の宅配とお持ち帰り

すしたいむ
鮭待夢
SUSHI.TIME

能代店 能代市南陽崎31-20
TEL.0185-55-3277



第15回八峰町文化祭開催

—芸術文化の秋—



- ①力強い太鼓演奏を披露した峰神太鼓
- ②きれいな音色を奏でた大正琴「琴修会」
- ③軽やかに踊った茂浦民謡同好会
- ④「秋田おぼこ甚句」を披露した八峰民謡サークル
- ⑤「まっかな秋」などを披露したコーラス白神
- ⑥「新型コロナ退散太鼓」を披露したのぞみ&太鼓連
- ⑦「ダンシング・ヒーロー」で会場を盛り上げたスコープ三味線「畑谷シャベルーズ」
- ⑧⑨生徒・児童による商品販売の様子
- ⑩巧みな話術で観客を沸かせた司会の本多さん



10月31日～11月3日に、第15回八峰町文化祭が、峰栄館とファガス、八峰中学校体育館を会場に開催されました。

八峰町文化祭
この文化祭は、生涯学習活動を行っている団体などが日頃の活動の成果を披露する機会となっており、八峰町芸術文化協会と八峰町公民館の主催で毎年開催されています。

芸能発表披露
3日には、八峰中学校体育館で芸能発表が行われました。新型コロナウイルス感染症対策を行い、例年よりも規模を縮小しての開催となりましたが、参加された12団体の方々による踊りやコーラス、楽器演奏などの素晴らしい発表に会場は大いに盛り上がりました。

玄関前では、峰浜小学校の児童によるサシェの販売や八峰中学校の生徒によるオリジナル商品の販売が行われ、商品を購入する方々に大いに賑わいました。

子ども達の力作揃う
また、第7回あきた白神子どもの俳画大会表彰式も行われ、子ども達の感受性豊かな作品が披露されました。入賞者は、広報はっほう11月号で紹介しています。